

株式会社 京都銀行

京都市下京区扇丸通松原上る
郵便番号 600-8652

「京銀環境方針」を発表します！

京都銀行（頭取 柏原 康夫）では、地球温暖化などのさまざまな環境問題が浮上する中、京都議定書が採択された地元京都の金融機関として、環境問題への取組みを重要な経営課題と位置づけ、これまで幅広くかつ積極的に取り組んでまいりました。

今般、さらに積極的・継続的な環境保全活動を推進するために「京銀環境方針」を制定するとともに、本部組織横断的な「環境委員会」を設置して活動してまいります。

記

1. 環境方針について

《基本理念》

わたくしたち京都銀行は、1200年を超える歴史都市京都を本拠に、美しい自然と貴重な歴史・文化を有する近畿地方に広域展開する銀行として、地域とともに持続的な発展を目指しております。

こうした地域の豊かな自然環境や歴史・文化的遺産を次世代に伝えていくことは、わたくしたちの社会的使命であり、環境問題を経営の重要課題として認識し、全役職員が積極的に環境保全に取り組んでまいります。

《行動指針》

- (1) 環境に関連する法律、規則、協定などを遵守します。
- (2) 企業活動が環境に与える影響を的確に把握し、目的・目標を定めて取組むとともに、定期的に見直すことで環境保全活動の継続的な改善に努めます。
- (3) 省エネルギー、省資源、リサイクル活動を推進し、環境への負荷の軽減に努めます。
- (4) 環境に配慮した金融商品およびサービス等の提供を通じて、環境保全活動に取り組むお客様を支援し、地域社会の環境改善に貢献します。
- (5) 役職員一人ひとりが環境問題に関する認識を深め、地域社会の環境保全活動に取り組みます。
- (6) この環境方針および環境に関連する取組みにつきましては、役職員全員に周知徹底し、一般にも公開します。

2. 当行の環境への主な取り組み

環境に配慮した企業や住宅に対する金融支援

「京銀エコ・ローン」、「京銀エコ・私募債」の取扱い
「京銀エコ住宅ローン金利優遇」の実施
「エコカー・セーフティードライブ優遇」の実施

ISO認証の取得

平成15年、事務センター（京都市）では、「ISO14001」（環境マネジメントシステムの国際規格）を取得し、電力使用量やコピー用紙の使用削減に取り組み

資源のリサイクルへの取組

「槇島文書センター」にて行内の廃棄文書類のリサイクルを実施
リサイクルしたトイレットペーパーを、京都府内の公立小中学校などへ寄贈
（年間約21万ロール、府内の公立小中学校の年間使用量の半年分）
「使用済み蛍光灯ランプ」をリサイクル原料へ再生するシステムを導入
グリーン購入の促進（渉外用カバンへのペットボトルリサイクル製品の採用等）

エコカーの導入

廃棄文書類や使用済み蛍光灯ランプの回収車に「天然ガス自動車」を導入

屋上緑化 等

「本店東館」をはじめ、堅田支店、事務センターで実施
堅田支店が滋賀県の「第3回^{オフ}淡海ユニバーサルデザイン賞（施設部門）」を受賞（2007年）
すべての人が利用しやすく、風力発電やソーラーシステム、屋上緑化など環境にも配慮している点が評価されました



ユニバーサルデザイン賞 表彰式



堅田支店の屋上緑化

「京銀ふるさとの森づくり」植樹祭の開催

当行嵐山研修会館で、地元の小学生や近隣住民等と51種類4,000本の木々を植樹



近隣の小学生たちと植樹



かわいい花を咲かせたサザンカ

「京都モデルフォレスト協会」の活動へ参画

地球温暖化の防止や災害の防止、景観の保全にむけた森林整備（間伐、枝打ち）活動へ参加するなど、森を守り育てる運動に参画



第1回森林整備教室の参加者



第6回森林整備教室(間伐体験)

その他

電気の使用について

- 使用していない部屋や共用部分（トイレ・廊下等）の照明の消灯や空調の停止
- 開店前や閉店後のロビーの照明の消灯
- 待機電力の削減（機器を主電源で操作、節電モードの活用等）

自動車の使用について

- 効率を考慮した訪問予定経路を事前に計画し実践
- 「エコ安全ドライブ」の取り組み

以上